



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
 コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒木 直也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 渡邊 学

TEL 06-6365-8120

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	551,568	20.5	1,008		101		8,109	
2020年3月期第3四半期	693,976	0.9	11,891	26.9	12,300	27.6	2,533	59.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,190百万円 ( 62.2%) 2020年3月期第3四半期 3,151百万円 ( 23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	65.57	
2020年3月期第3四半期	20.50	20.36

(注) 2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	644,986	241,482	37.2
2020年3月期	586,904	244,634	41.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 240,234百万円 2020年3月期 243,317百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		12.50			
2021年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	730,000	18.6	10,000		10,000		22,000		177.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	125,201,396 株	2020年3月期	125,201,396 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,523,970 株	2020年3月期	1,558,219 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	123,668,633 株	2020年3月期3Q	123,611,340 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3'3.「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 貸借対照表の状況	3
3. 今後の見通し	3
4. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
5. 補足情報	11

1. 経営成績の状況

(百万円)

	18/12累計 金額	19/12累計 金額	20/12累計		
			金額	前年比	増減
百貨店事業	370,438	370,615	252,727	68.2%	△ 117,887
食品事業	282,304	270,628	214,498	79.3%	△ 56,130
不動産事業	6,663	6,169	50,029	810.9%	+ 43,860
その他事業	40,998	46,563	34,313	73.7%	△ 12,250
売上高	700,406	693,976	551,568	79.5%	△ 142,408
百貨店事業	13,485	10,696	△ 963	-	△ 11,659
食品事業	461	△ 1,100	4,493	-	+ 5,594
不動産事業	3,346	3,162	333	10.5%	△ 2,829
その他事業	4,628	3,628	△ 1,444	-	△ 5,072
調整額	△ 5,644	△ 4,495	△ 3,427	-	+ 1,067
営業利益 (△は損失)	16,277	11,891	△ 1,008	-	△ 12,900
経常利益 (△は損失)	16,989	12,300	△ 101	-	△ 12,401
特別利益	577	857	3,010	351.0%	+ 2,152
特別損失	6,070	7,399	12,797	173.0%	+ 5,398
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△は損失)	6,227	2,533	△ 8,109	-	△ 10,642

※セグメント別売上高は外部顧客への売上高

▶売上高

当期の当社グループの連結業績は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令やその後の外出自粛、二度の感染再拡大により、百貨店事業を中心として大きな影響を受け、売上高は551,568百万円(前期比79.5%)となりました。

▶営業利益および経常利益

売上高の減少に伴う粗利益の低下により、営業損失は1,008百万円(前期は営業利益11,891百万円)、経常損失は101百万円(前期は経常利益12,300百万円)となりました。

(百貨店事業)

2020年4月に発令された緊急事態宣言およびそれに伴う行政の要請により、一部店舗の完全休業、阪急・阪神の両本店を含む店舗における食料品売場のみへの縮小営業を実施いたしました。5月下旬より、お客様と従業員の安全に最大限配慮した上で、全店での営業を再開しました。

第2四半期以降は、新型コロナウイルス新規感染者数の状況を考慮しつつ、順次、営業時間の変更や催事・販促施策を再開いたしました。新規感染者数が減少傾向にあった時期には、基調回復の兆しが見えたものの、12月以降の「第3波」感染再拡大によりオフィスへの通勤者、シニア層やファミリー層などの来店が減少し、都心店の入店客数は低水準にとどまりました。一方、自宅から近距離に立地し食品の構成比が高い郊外店は比較的堅調に推移しました。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の売上高は252,727百万円(前期比68.2%)となりました。また、宣伝装飾費や委託作業費など経費削減に努めた結果、営業損失は963百万円(前期は営業利益10,696百万円)となりました。なお、第3四半期連結会計期間(10月～12月)の営業損益は2,493百万円の黒字となりました。

(食品事業)

総菜やベーカリーを製造する製造子会社は、卸先の休業や即食需要の落ち込みの影響を受けて減収減益となったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大・外出自粛に伴う内食需要の高まりを受け、イズミヤ株式会社、株式会社阪急オアシスなどの既存店の売上高は順調に推移し、またイズミヤの非食品事業分割による再編効果も加わって、食品スーパー3社の営業利益は前期に対して6,616百万円の大幅増益となりました。

※従来のイズミヤ株式会社は2020年4月1日付で3社に分割されており、前期の食品事業には衣料品・住居関連品販売を含む総合スーパーを運営する旧・イズミヤ株式会社の実績が含まれ、当期の食品事業は、食品スーパーのみを運営する新・イズミヤ株式会社の実績が対象となっております。

(不動産事業)

株式会社阪急商業開発では、運営する商業施設の休業および営業時間短縮、テナントの家賃減額などにより減益となりました。

※上記のイズミヤ株式会社の会社分割により、当期から不動産事業には、イズミヤ店舗における衣料品・住居関連品販売およびテナント管理を行う株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発の実績が含まれており、当期の本セグメントの減益要因のひとつとなっております。

(その他事業)

食品宅配事業を行う株式会社阪急キッチンエール関西では、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い会員数が増加し、稼働率も向上した結果、売上高は前期比146.3%と伸長しました。しかしながら、ビジネスホテル「アワーズイン阪急」を運営する株式会社大井開発では、観光客および出張利用の大幅な減少に伴い減益となるとともに、持株会社である当社において、子会社からの受取配当金が減少したことなどにより、その他事業は減収減益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

休業者の人件費に対する雇用調整助成金等の助成金収入2,644百万円などを特別利益に計上する一方で、減損損失5,810百万円や、新型コロナウイルス感染症による損失5,124百万円など特別損失を合計12,797百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,109百万円となりました。

(百万円)

科目	金額	主な内容
特別利益	3,010	(対前年+2,152百万円)
助成金収入	2,644	雇用調整助成金等
違約金収入	365	賃貸契約期間中途でのテナント退店に伴う違約金
特別損失	12,797	(対前年+5,398百万円)
減損損失	5,810	神戸阪急、高槻阪急
新型コロナウイルス感染症による損失	5,124	阪急阪神百貨店
固定資産除却損	1,232	
投資有価証券評価損	444	
店舗等閉鎖損失	185	三田阪急

2. 貸借対照表の状況

(百万円)

	19/12末	20/3末	20/12末		19/12末	20/3末	20/12末
現金及び預金	33,076	25,958	58,181	支払手形及び買掛金	73,785	43,917	63,258
受取手形及び売掛金	68,734	44,445	66,096	借入金及び社債	161,279	151,713	190,314
棚卸資産	34,813	29,688	27,275	負債合計	397,618	342,270	403,504
流動資産合計	148,804	112,116	162,200	株主資本	237,374	221,732	209,350
固定資産合計	526,724	474,788	482,785	純資産合計	277,909	244,634	241,482
資産合計	675,528	586,904	644,986	負債純資産合計	675,528	586,904	644,986

3. 今後の見通し

通期の業績予想については、2020年10月30日に公表した業績予想からの変更はありません。

4. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,958	58,181
受取手形及び売掛金	44,445	66,096
商品及び製品	27,732	25,447
仕掛品	348	343
原材料及び貯蔵品	1,607	1,484
未収入金	7,618	5,550
その他	4,740	5,434
貸倒引当金	△335	△337
流動資産合計	112,116	162,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	117,976	109,041
機械装置及び運搬具（純額）	2,964	2,860
土地	139,351	139,010
建設仮勘定	1,248	3,483
その他（純額）	11,624	10,239
有形固定資産合計	273,165	264,635
無形固定資産		
のれん	3,305	2,895
その他	15,862	15,382
無形固定資産合計	19,168	18,278
投資その他の資産		
投資有価証券	95,841	108,922
長期貸付金	7,026	8,272
差入保証金	70,425	70,213
退職給付に係る資産	60	904
繰延税金資産	10,008	12,656
その他	2,020	1,759
貸倒引当金	△2,927	△2,857
投資その他の資産合計	182,454	199,872
固定資産合計	474,788	482,785
資産合計	586,904	644,986

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,917	63,258
短期借入金	15,000	-
1年内返済予定の長期借入金	18,100	11,664
未払金	21,976	20,744
リース債務	910	914
未払法人税等	2,267	1,249
商品券	27,872	28,688
賞与引当金	3,953	1,738
役員賞与引当金	90	16
店舗等閉鎖損失引当金	78	11
ポイント引当金	1,951	2,394
資産除去債務	90	163
その他	21,930	25,836
流動負債合計	158,139	156,679
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	98,613	158,650
繰延税金負債	17,108	20,928
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	164	179
商品券等回収引当金	4,233	4,914
退職給付に係る負債	13,993	13,037
長期末払金	287	148
リース債務	13,806	13,112
長期預り保証金	9,632	9,691
資産除去債務	3,165	3,200
その他	2,858	2,695
固定負債合計	184,131	246,825
負債合計	342,270	403,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	92,650	92,639
利益剰余金	114,184	101,747
自己株式	△2,899	△2,833
株主資本合計	221,732	209,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,435	34,957
土地再評価差額金	124	124
為替換算調整勘定	△1,128	△1,226
退職給付に係る調整累計額	△2,846	△2,972
その他の包括利益累計額合計	21,584	30,883
新株予約権	1,312	1,244
非支配株主持分	4	4
純資産合計	244,634	241,482
負債純資産合計	586,904	644,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	693,976	551,568
売上原価	495,569	392,785
売上総利益	198,407	158,782
販売費及び一般管理費	186,515	159,791
営業利益又は営業損失(△)	11,891	△1,008
営業外収益		
受取利息	122	262
受取配当金	1,302	1,405
諸債務整理益	1,185	1,440
その他	669	875
営業外収益合計	3,280	3,984
営業外費用		
支払利息	577	616
商品券等回収引当金繰入額	942	1,182
持分法による投資損失	236	496
その他	1,115	782
営業外費用合計	2,871	3,077
経常利益又は経常損失(△)	12,300	△101
特別利益		
助成金収入	-	2,644
違約金収入	-	365
固定資産売却益	840	-
負ののれん発生益	17	-
特別利益合計	857	3,010
特別損失		
減損損失	14	5,810
新型コロナウイルス感染症による損失	-	5,124
固定資産除却損	1,425	1,232
投資有価証券評価損	-	444
店舗等閉鎖損失	466	185
進路設計支援費用	3,289	-
固定資産売却損	865	-
事業整理損	793	-
株式交換差損	543	-
特別損失合計	7,399	12,797
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	5,758	△9,888
法人税、住民税及び事業税	3,307	1,164
法人税等調整額	△82	△2,943
法人税等合計	3,224	△1,779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,533	△8,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,533	△8,109



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,533	△8,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,069	9,522
為替換算調整勘定	△161	△21
退職給付に係る調整額	330	△125
持分法適用会社に対する持分相当額	△620	△75
その他の包括利益合計	617	9,299
四半期包括利益	3,151	1,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,151	1,190
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更)

一部の連結子会社における商品の評価方法は、従来、売価還元法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用していましたが、食品事業のシステム統合に伴い、算定に必要なデータの入手が可能となったため、第1四半期連結会計期間より売価還元法による低価法に変更しております。

なお、当該システムには過年度に関する必要なデータが蓄積されていないことから、この会計方針を遡及適用することは実務上不可能であるため、変更後の評価方法に基づく第1四半期連結会計期間の期首の商品の帳簿価額と、前連結会計年度の期末における商品の帳簿価額の差額を基に算定した累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が308百万円減少しております。なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の売上原価、各段階損益及び1株当たり情報への影響額は軽微であります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り

当社グループでは、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りにおいて、当第3四半期連結会計期間の末日時点で入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、売上高減少等の影響が大きい百貨店事業において影響は依然残っており、会計上の見積りにおいては、その影響は翌上半期に亘り続き、以降緩やかに回復するという第2四半期連結会計期間末の仮定を引き続き採用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	370,615	270,628	6,169	46,563	693,976	—	693,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203	4,077	12,661	20,206	37,149	△37,149	—
計	370,818	274,706	18,831	66,770	731,126	△37,149	693,976
セグメント利益又は 損失(△)	10,696	△1,100	3,162	3,628	16,386	△4,495	11,891

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,495百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	252,727	214,498	50,029	34,313	551,568	—	551,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	207	6,523	8,252	16,164	31,148	△31,148	—
計	252,934	221,021	58,282	50,478	582,716	△31,148	551,568
セグメント利益又は 損失(△)	△963	4,493	333	△1,444	2,418	△3,427	△1,008

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,427百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 前第3四半期連結累計期間に食品事業に含まれていたイズミヤ株式会社の事業のうち衣料品・住居関連品販売およびテナント管理事業が、2020年4月1日付で株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発に分割されたことに伴い、当第3四半期連結累計期間では、従来「食品事業」セグメントに含まれていた衣料品・住居関連品販売およびテナント管理事業の売上高47,676百万円(外部顧客への売上高44,514百万円及びセグメント間の内部売上高又は振替高3,162百万円)、セグメント損失△2,184百万円が、「不動産事業」セグメントに含まれております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

2020年4月1日に、当社の連結子会社であるイズミヤ株式会社の衣料品・住居関連品販売およびテナント管理事業を、会社分割により、同じく連結子会社である株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発へ承継いたしました。

この結果、前連結会計年度の末日に比べ「不動産事業」のセグメント資産が29,400百万円増加し、「食品事業」のセグメント資産が同額減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「百貨店事業」セグメントにおいて、神戸阪急・高槻阪急について当第3四半期連結累計期間に5,810百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

5. 補足情報

連結

販売費及び一般管理費の状況

(百万円)			
科目	金額	前年比	増減
人件費	60,813	85.0%	△ 10,752
賃借料	26,617	87.4%	△ 3,851
広告宣伝費	3,798	44.8%	△ 4,675
減価償却費	12,393	96.8%	△ 407
委託作業費	13,096	87.2%	△ 1,925
販売手数料	9,103	82.8%	△ 1,894
運搬費	11,336	95.7%	△ 512
その他	22,632	89.3%	△ 2,705
販売費及び一般管理費	159,791	85.7%	△ 26,724

営業外損益の状況

(百万円)			
科目	金額	前年比	増減
営業外収益	3,984	121.5%	+ 704
受取利息	262	214.1%	+ 139
受取配当金	1,405	108.0%	+ 103
諸債務整理益	1,440	121.5%	+ 255
その他	875	130.7%	+ 205
営業外費用	3,077	107.2%	+ 205
支払利息	616	106.8%	+ 39
商品券等回収引当金繰入額	1,182	125.5%	+ 240
持分法による投資損失	496	209.5%	+ 259
その他	782	70.1%	△ 333

特別損益の状況

(百万円)		
科目	金額	主な内容
特別利益	3,010	(対前年+2,152 百万円)
助成金収入	2,644	雇用調整助成金等
違約金収入	365	賃貸契約期間中途でのテナント退店に伴う違約金
特別損失	12,797	(対前年+5,398 百万円)
減損損失	5,810	神戸阪急、高槻阪急
新型コロナウイルス感染症による損失	5,124	阪急阪神百貨店
固定資産除却損	1,232	
投資有価証券評価損	444	
店舗等閉鎖損失	185	三田阪急

㈱阪急阪神百貨店

経営成績

(百万円)			
	金額	前年比	増減
売上高	250,885	72.0%	△ 97,643
売上総利益	57,656	69.1%	△ 25,768
(売上総利益率)	22.98%	-	△0.96pt
その他の営業収入	2,149	183.9%	+ 980
販売費及び一般管理費	60,700	82.4%	△ 12,985
(販管费率)	24.19%	-	+3.05pt
営業利益	△ 894	△8.2%	△ 11,802
(営業利益率)	-	-	-

※ 2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントから株式会社阪急阪神百貨店へ移管

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業、営業時間短縮、催事・販促施策の自粛の実施
- ▶ 阪急本店の免税売上高前期比8%、構成比2%
- ▶ 休業期間中の販売費及び一般管理費の一部(人件費や賃料、減価償却費など合計4,266百万円)を新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に計上

店別取扱高、入店客数

(百万円、千人)				
	金額	前年比	入店客数	前年比
阪急本店 ※1	126,304	66.2%	17,500	48.9%
阪神梅田本店	20,637	56.5%	10,706	46.4%
千里阪急	9,541	80.8%	2,816	80.7%
高槻阪急 ※2	13,703	244.7%	5,537	235.2%
川西阪急	9,159	80.1%	3,262	76.0%
宝塚阪急	5,004	88.4%	※5 -	-
西宮阪急	15,219	79.7%	7,367	74.8%
三田阪急	773	73.8%	※5 -	-
神戸阪急 ※2	20,779	198.6%	8,570	172.2%
博多阪急	24,174	63.3%	11,055	53.9%
阪急メンズ東京	6,379	64.1%	713	36.4%
大井食品館	3,489	101.2%	3,391	83.4%
都筑阪急 ※3	2,263	64.1%	1,523	55.4%
あまがさき阪神	2,126	95.8%	※5 -	-
阪神・にしのみや	3,072	90.7%	2,760	84.1%
阪神・御影	353	88.1%	3,142	85.7%
支店計	116,041	91.9%	50,141	81.9%
全店計	262,983	74.4%	78,348	65.2%
既存店計 ※4	228,499	67.7%	64,240	57.0%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 2019年10月5日営業開始。百貨店の売上高と専門店の取扱高(12,098百万円)の合計。

※3. 2020年1月19日1F営業終了

※4. 神戸阪急および高槻阪急を除く

※5. 入店客数計測器を設置していないため

商品別取扱高

(百万円)

	金額	前年比	構成比
紳士服・洋品	20,199	65.9%	7.7%
婦人服・洋品	29,467	62.8%	11.2%
子供服・洋品	5,142	68.9%	2.0%
その他の衣料品	5,426	67.0%	2.1%
衣料品	60,235	64.6%	22.9%
身の回り品	45,362	69.0%	17.2%
家庭用品	6,781	67.1%	2.6%
食料品	87,544	85.5%	33.3%
食堂・喫茶	3,381	45.4%	1.3%
雑貨	45,766	68.6%	17.4%
サービス	934	49.4%	0.4%
その他	12,976	214.1%	4.9%
合計	262,983	74.4%	100.0%

※ その他に神戸阪急・高槻阪急の専門店の取扱高(12,098百万円)を含む

月次取扱高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
阪急本店 ※1	14.1%	25.6%	78.1%	75.4%	70.5%	61.8%
阪神梅田本店	19.1%	27.3%	63.9%	68.1%	63.1%	44.2%
支店 計	41.8%	56.1%	115.4%	112.6%	116.7%	108.2%
全店 計	23.6%	35.9%	89.1%	86.8%	85.0%	73.0%
既存店計 ※2	19.5%	30.5%	77.5%	76.1%	73.1%	63.7%

	10月	11月	12月
阪急本店 ※1	98.7%	86.2%	82.1%
阪神梅田本店	89.3%	68.5%	66.3%
支店 計	97.0%	90.4%	89.2%
全店 計	97.1%	86.3%	83.5%
既存店計 ※2	-	-	-

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 2019年10月営業開始の神戸阪急・高槻阪急を除く

イズミヤ(株)

経営成績

	金額	前年比	増減
売上高	101,428	62.7%	△ 60,341
売上総利益	26,551	63.4%	△ 15,349
(売上総利益率)	26.18%	-	+0.28pt
その他の営業収入	8,890	80.1%	△ 2,211
販売費及び 一般管理費	32,443	59.4%	△ 22,160
(販管費率)	31.99%	-	△1.77pt
営業利益	2,997	-	+ 4,599
(営業利益率)	3.0%	-	-

イズミヤ株式会社は2020年4月1日付で食品を販売する新・イズミヤ株式会社、衣料品・住居関連品の販売とテナント管理を行う株式会社エイチ・ツー・オー 商業開発、医薬品・化粧品・日用品を販売する株式会社CFIZ(持分法適用会社)の3社に分社化。

店舗数	(店)
合計	74

開閉店の状況

開店	—
閉店	浜田町店(兵庫県)

月次既存店売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
既存店	106.8%	106.1%	99.8%	103.5%	105.2%	100.5%

  

	10月	11月	12月	3Q累計
既存店	102.0%	99.6%	101.6%	101.1%

※ 分割後のイズミヤに相当する部門の前年実績との比較



㈱阪急オアシス

経営成績

(百万円)

	金額	前年比	増減
売上高	84,515	102.1%	+ 1,745
売上総利益	22,628	104.9%	+ 1,050
(売上総利益率)	26.77%	-	+0.70pt
その他の営業収入	5,392	102.1%	+ 111
販売費及び 一般管理費	26,339	97.6%	△ 635
(販管費率)	31.17%	-	△1.42pt
営業利益	1,682	-	+ 1,797
(営業利益率)	1.99%	-	-

店舗数	(店)
合計	77
(前年差)	- 1

開閉店の状況

開店	茨木駅前店(大阪府)
閉店	仁川店(兵庫県)、吹田穂波店(大阪府)

月次既存店売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
既存店	106.0%	103.3%	98.6%	101.8%	104.9%	98.5%

	10月	11月	12月	3Q累計
既存店	99.2%	96.2%	102.9%	101.3%